

令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に5月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、理由を明確にしながらか、自分の考えが伝わるように表し方を工夫して書く力が身に付いている。
- 文の中における主語と述語との関係を捉える力が身に付いている。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。

【算 数】

- 二つの道のりの差の求め方を記述したり、速さを求める式と答えの意味が分かったり、「速さ」についての理解がよくできている。
- 商が1より小さくなる(整数)÷(整数)の場面で、数量の関係を捉えて、式に表し、計算する力が身に付いている。
- 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉えて考える等、図形領域に課題がある。

2 児童(生徒)質問紙に関する結果の概要

- 友達と協力して助け合いながら生活している児童が多い。
- 人の役に立ちたいという意識をもっている児童が多い。
- 自分のよいところについて考えたり、気付いたりする機会が少ないところに課題がある。
- 目的に応じて自分の考えを話したり、他者と話し合っって自分の考えを深めたりしようとする意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・全校でのノート名人、話し方マスターの取組
 - ・単元と一単位時間に見通しとふり返りを位置づけた授業改善の推進
 - ・毎月の重点目標の設定とスモールステップを意識した取組
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・タブレット端末を日常的に活用する個別に対応した学習の推進
 - ・学びの冒険地図の作成・活用と他者との考えの練り上げを意識した授業改善

(2) 児童(生徒)質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・学年に応じて、家庭学習の計画を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施
 - ・異学年のつながりによって自他のよさに気づかせる児童会活動
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・目標設定→挑戦努力→達成の一連の活動により、自信をもたせる場を設定する。
 - ・ふり返りの中で学習したことをつなげたり活用できる場面を考えたりする場を設定する。